

日本における海事博物館に関する基礎的研究

A basic study on Maritime Museum in Japan

○大野真由美¹, 畔柳昭雄², 菅原遼³

Mayumi Ohno¹, Akio Kuroyanagi², Ryo Sugahara³

Abstract: In this study, to understand the current status of the Maritime Museum in Japan, it is an object to be grasped for defining the permanent collection plan Maritime Museum. As a result, it was able to confirm that the Display involved in fisheries, such as fishing boats is a majority. In the future, it is considered in selecting the Maritime Museum, it is necessary to know in detail the like exhibition space, museum policy.

1. はじめに

政府は、2013年4月26日に新しい海洋基本計画を閣議決定し、「海洋教育の充実および海洋に関する理解の増進」を付け加えた。このことから、近年、社会教育における海洋教育の必要性が高まり、その一つとして海事博物館の設置等が挙げられる。一方、海外では、国際海事博物館機構 (ICMM) にて、隔年に国際海事博物館会議が開催され、加盟博物館の連携の強化が図られている。また、韓国や中国では、1990年代から海洋教育の促進を国家が支援している。一方、日本博物館協会の館種区分には海事博物館は明記されておらず、明確な定義も存在しない。そのため、海事博物館に対する意識及び管理体制は、依然として曖昧である。そこで、本稿では、日本における海事博物館の常設展示内容について把握することを目的とする。

2. 調査概要

Table1 に調査概要を示す。対象博物館の選定にあたり、全国博物館総覧に掲載されている博物館の中から、海に関連する展示を行っているものを海事博物館とした結果、139館選定した。また、閉館・休館・無期限休館の博物館、河川・池・湖など淡水における漁業で使用された漁具や漁船を展示している博物館は対象博物館から除外した。

3. 調査結果

対象博物館の展示物や収蔵品を博物館総覧・パンフレット・公式ホームページから把握した。その結果、A 造船, B 船舶, C 船舶模型, D 海運, E 港湾整備, F 水産, I その他の9パターンの展示内容を抽出した。以下にその特徴と傾向を示す。

Table 1. Survey overview

項目	調査概要
調査対象	海に関連する展示をしている博物館
調査方法	文献調査 財団法人日本博物館協会編集 全国博物館総覧 2014.10.28 (139件)
	インターネット パンフレット 公式ホームページ
調査項目	展示物・収蔵品
※閉館・休館・無期限休館の博物館、内水面で使用された漁具を展示している博物館を除く。	

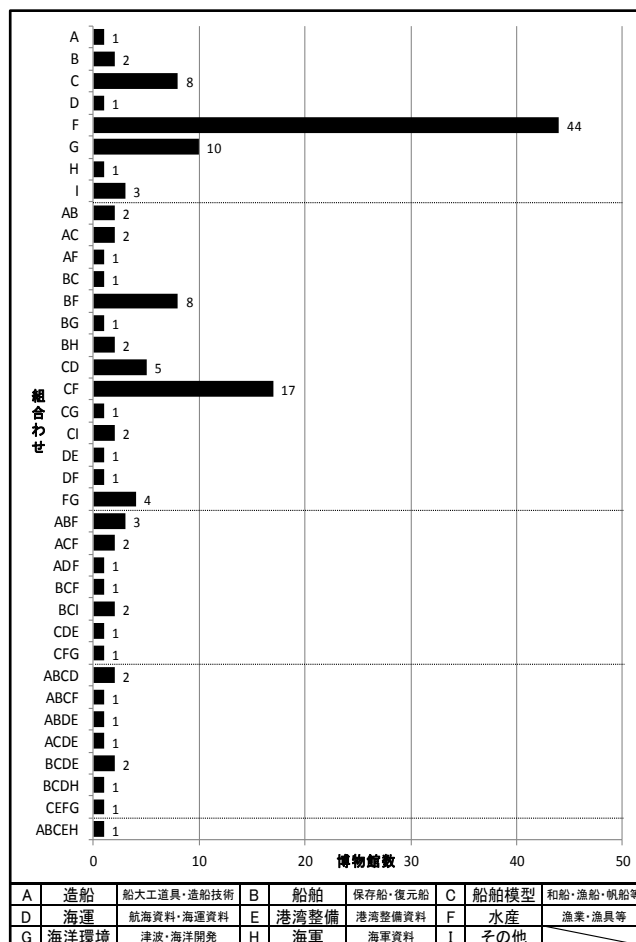


Figure 1. Exhibition content

1 : 日大理工・学部・海建 Nihon-U. 2 : 日本理工・教員・海建 Prof.CST,Nihon-U.,Dr.Eng.
3 : 日大理工・教員・海建 Reserch assistant,CST,Nihon-U.M-Eng

3-1 博物館の展示内容の組合せからみた傾向

Figure1 に展示内容の詳細と組合せを示す。展示の組合せは 37 通り確認できた。これをみると、F の突出が全体の 31%と顕著であり、44 館中 38 館で漁具を博物館内の一部のコーナーで展示していることがわかった。また、名称に着目すると 38 館中 27 館が郷土資料館や歴史民俗資料館であることが明らかとなった。次に、全体の 12%を占める CF では、14 館で漁船模型と漁具の展示を行い漁法や漁の様子を再現した展示が行われている。これは、伝統文化を保存・継承するためだと考えられる。このように、F (水産) を含む展示の組合せが 139 館中 85 館と、全体の 61%を占めていることから、日本における海事博物館では、水産業関連の展示が中心となっていることが明らかとなった。

3-2 博物館の立地と分布からみた傾向

Figure2 に対象博物館の分布を、Table2 に対象博物館と展示内容を示す。対象博物館は海岸沿いに大多数が立地している。特に、東京湾、大阪湾、瀬戸内海に密集しており、これは過去から現在に至るまでに主な貿易港として使用されているためだと考えられる。次に、県別の分布をみると、北海道、千葉県、兵庫県の順に対象博物館数が多く、北海道、千葉県の約半数は F (水産) が占めていることから、地域の生活と水産は密接に関わっていることがわかる。さらに、県別の展示の傾向を捉えると、兵庫県、神奈川県は E (港湾整備) が含まれる展示が比較的多く確認された。これは、神戸港や横浜港を有するためだと考えられる。また、造船所が密集している広島県、兵庫県では、A (造船) を含む展示傾向であることがわかった。また、B (船舶) を含んで展示している博物館は、東京都、神奈川県、広島県に多く存在していることがわかった。

4. おわりに

本稿では、海に関連する展示をしている博物館を海事博物館とし、展示物・収蔵品から展示内容の傾向を把握した。その結果、漁具や漁船など水産に関わる展示が大部分であることが明らかとなった。また、県別にみることで、地方における海事産業の特徴を捉えた。今後は、展示面積・博物館の方針など詳細なデータを収集し、考察する上で海事博物館の定義を明確にできると考える。

5. 参考文献

[1]海洋政策研究財団：「海洋白書 2014」, 2014.4.18
 [2]財団法人日本博物館協会：「全国博物館総覧」, 1-4 巻, 2014.10.28

Figure 2. Distribution of Museum of study

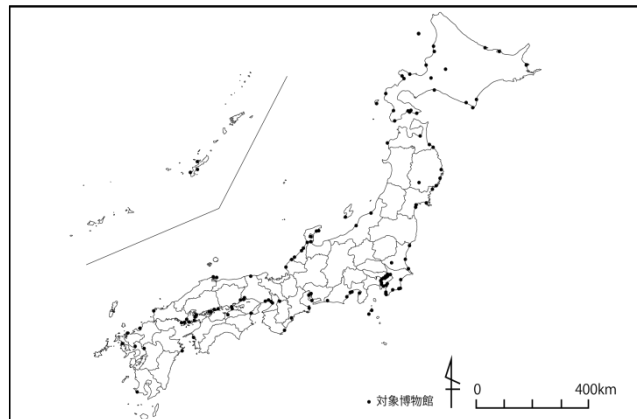


Table 2. Museum of study and display

地方	都道府県	№	名称	組合せ	地方	都道府県	№	名称	組合せ
北海道	北海道	1	厚岸町海事記念館	CF	北海道	北海道	73	水見市立博物館	ABF
		2	石狩市はまなす郷土資料館	F			74	石川島海洋漁業科学館	ABF
		3	岩手県立博物館	CF			75	石川島陸軍歴史館	CD
		4	浦河町立郷土博物館	F			76	蝦夷地歴史センター	CF
		5	えりも町郷土資料館ほろいずみ水産の館	F			77	かほく市海と渚の博物館	CF
		6	奥尻島津波館	G			78	北前船の重資料館	C
		7	オホーツク流水館	G			79	のと海洋ふれあいセンター	G
		8	開道丸亀少年センター	BH			80	羽咋市歴史民俗資料館	CF
		9	産業文化財団花田家遺屋	F			81	越前がにミュージアム	CF
		10	せたな町瀬得郷土館	F			82	みくに館	CD
		11	中富良野町郷土館	F			83	清水港湾博物館 (フェルケル博物館)	CD
		12	糠御殿とまり	F			84	東海大学海洋科学博物館	G
		13	函館市戸井郷土館	F			85	沼津市戸田造船郷土資料博物館	AC
		14	函館市水産資料館	F			86	浜松市舞阪郷土資料館	CF
		15	館山島田歴史民俗資料館	C			87	徳島市歴史資料館	CF
		16	羽後町郷土資料館	F			88	焼津市歴史民俗資料館	CF
		17	広尾町海洋博物館	F			89	知多市歴史民俗博物館	BF
		18	広尾町郷土文化保存伝習館	CF			90	名古屋海洋博物館 衝線観望船ふし	BG
		19	北海道開拓の村	F			91	日南島資料館	F
20	北海道立オホーツク流水科学センター	G	92	海の博物館	BF				
21	松前町郷土資料館	CG	93	山田郷土資料館	F				
22	秋別市立博物館	G	94	交通科学博物館	C				
23	勇気資料館	D	95	明石市立文化博物館	F				
24	余市水産博物館	CF	96	赤穂市立海洋科学館	FG				
25	利尻島郷土資料館	F	97	赤穂市立歴史博物館	C				
26	風待ち館	CD	98	大島門橋記念館(うずしお科学館)	G				
27	野辺地町立歴史民俗資料館	DF	99	香美町の文化館	CEFG				
28	八戸市水産科学館	FG	100	神戸海洋博物館 カフェオールド	BDE				
29	深浦町歴史民俗資料館	F	101	神戸市立博物館	ADE				
30	岩手県立水産科学館	F	102	神戸深江生活文化史料館	AF				
31	大船渡市立博物館	F	103	相生市立歴史民俗資料館	A				
32	釜石市郷土資料館	G	104	平塚歴史館	B				
33	斎藤實記念館	H	105	本地町立くしらの博物館	CF				
34	洋野町立郷土歴史民俗資料館	F	106	海とくしらの史料館	F				
35	気仙沼リアスヤークミュージアム	F	107	島根町歴史民俗資料館	F				
36	七ヶ瀬町歴史民俗資料館	F	108	加子浦歴史文化館	BCF				
37	タムシツツ塩田歴史展示室	G	109	南市立野瀬津博物館	CFG				
38	宮崎県立歴史民俗資料館ミュージアム (サン・ファン館)	AB	110	因島水軍城	CI				
39	大洗海洋博物館	FG	111	木江ふれあい郷土資料館	AC				
40	鹿嶋市大野湖(はまなす公園) 美術館資料館	F	112	倉橋歴史民俗資料館	F				
41	北茨城市歴史民俗資料館	F	113	呉市海事歴史科学館 (大和ミュージアム)	ABDEH				
42	つくばエクスプレスセンター 独立行政法人日本原子力研究開発機構大洗わくわく科学館	G	114	長門の造船歴史館	ABCD				
43	浦安市郷土博物館	AB	115	福山市轄の浦歴史民俗資料館	BF				
44	御宿町歴史民俗資料館	F	116	尾道市因島史料館	BF				
45	鴨川市郷土資料館	F	117	周防大島町久賀歴史民俗資料館	F				
46	文化財センター	F	118	周防大島町立陸奥記念館	I				
47	君津町漁業資料館	F	119	大館館-下関市立豊北歴史民俗資料館	F				
48	豊少資料館	ACF	120	光ふるさと郷土館	CF				
49	白子町歴史民俗資料室	F	121	平生町民館	F				
50	白浜海洋美術館	I	122	由宇歴史民俗資料館	ADF				
51	市立市川歴史博物館	F	123	海の科学館	BC				
52	館山市立博物館分館 (渚の博物館)	BF	124	瀬戸内海歴史民俗資料館	ABCF				
53	高津町立記念館	F	125	大正島海軍博物館	BCI				
54	船越市郷土資料館	CF	126	西予市歴史民俗資料館	F				
55	江戸川区郷土資料室	ACF	127	亀陽文庫 能古博物館	C				
56	大田区立大森海苔のふるさと館	BF	128	佐賀県立名護屋城博物館	C				
57	神津島村郷土資料館	F	129	大良町歴史民俗資料館	F				
58	第五福童丸展示館	B	130	海上自衛隊佐世保史料館	CI				
59	東京海洋大学海洋科学部 附属水産資料館	BF	131	西海市大瀬戸歴史民俗資料館	CF				
60	新島村博物館	CF	132	新上五島町歴史民俗資料館	F				
61	物流博物館	GD	133	平戸市年舟町博物館 島の館	CF				
62	船の科学館	BCDH	134	玉名市立歴史博物館こころピア	CDE				
63	観音崎自然博物館	F	135	大分県マリナルチャーセンター 海洋科学館	FG				
64	記念館三笠	BH	136	南さつま市坊津歴史資料センター 津津館	F				
65	日本郵船歴史博物館	BCDE	137	うるま市立海の文化資料館	ABF				
66	横濱開港資料館	DE	138	国営沖縄記念公園海洋文化館	BCI				
67	横浜市八景郷土資料館	F	139	対馬丸記念館	I				
68	横浜マリタイムミュージアム	ABDE							
69	海運資料館	ABCD							
70	海運資料館 小島民俗博物館 (千石船展示館)	ABF							
71	聖蹟歴史民俗資料館	F							
72	天領出雲崎時代館 出雲崎石灯籠記念館	C							